
多面的機能支払 メールマガジン

「農村ふるさと保全通信」第66号(2019. 6. 24)

農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力!

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第66号をお届けします。

今回の活動組織紹介では、非農家の方を含めた地域ぐるみで活動を行っている組織と、スケールメリットを活かした効率的な運営を行う広域活動組織を紹介します。

事務局からは、「多面的機能支払交付金」の効果、平成30年度「食料・農業・農村白書」の公表について紹介します。

----- 第66号の目次

1. 活動組織の活動紹介

☆金屋(かなや)の水と緑を守る会(滋賀県甲良(こうら)町)☆

☆勝山(かつやま)市農地水広域協定(福井県勝山(かつやま)市)☆

2. 「多面的機能支払交付金」にはこんな効果があります! 第4弾

3. 平成30年度「食料・農業・農村白書」の公表について

(編集後記)

■ 1. 活動組織の活動紹介(1)

～^{かなや}金屋の水と緑を守る会(滋賀県^{こうら}甲良町)～ ■

～地区概要～

滋賀県の琵琶湖の東部に位置し、用水が集落内の水路を流れ、住民の暮らしと用水が深く結びついている地域で活動。活動範囲は、田 41.0ha、畑 4.1ha、農道 4km、水路 13km。

～主な取組～

- 本組織は、結成当初から非農家の方が活動に参加し、地域ぐるみで水利施設等の保全管理を行ってきました。参加者同士のまとまり意識の向上を目的に、緑色のユニホームを揃えて作業を行っています。服装を気にせず活動へ参加できるため構成員から好評を得て、現在は2代目のユニホームを着て活動しています。
- 活動組織が施設の維持管理を行うことから、地域の集落営農組織『ファームかなや』において農地維持の作業負担が軽減され、生産体制が強化されました。
- また、農村環境保全活動においては、『ホタルは自然環境のバロメータ』を合言葉に小学生を対象としたホタルの観察・学習会を開催しており、保護者や地域住民も参加することで、地域コミュニティの輪が広がる機会となっています。
- さらに、防災減災活動の一環として、用水路を堰上げし、火災が発生した際の消火水利として利用できるよう、集落の自警団が消防用ポンプの点検を兼ねて定期的に放水訓練を行っています。
- 今後も恵まれた水環境を主とした農村環境の保全・向上に向け、幅広い世代の参画のもと地域ぐるみでの活動が継続していくよう取り組んでいきます。

【金屋の水と緑を守る会 会長 片岡 太一】



水路の景観形成活動



揃いのユニホームで泥上げ作業



農業用水を利用した放水訓練

■ 1. 活動組織の活動紹介(2)

～^{かつやま}勝山市農地水広域協定(福井県 ^{かつやま}勝山市)～ ■

～地区概要～

福井県嶺北地方の東部に位置し、中山間地域にて活動。活動範囲は、田1,245ha、畑7ha、草地0.4ha。農道 149.6km、水路75.2km、ため池 11 か所。

～主な取組～

- ◎本地域では、集落同士の結束をより強め、スケールメリットを活かした効率的な運営を目指すため、平成 30 年度に市内の 45 集落で広域組織を設立しました。
- ◎組織では、地域住民全員での活動を目標にしていることから、非農家の方も農用地法面の草刈りや水路の泥上げなどの基礎的保全活動に参加しています。
- ◎生態系保全活動では、子供会と連携し、農地に生息する生き物調査やホタルの鑑賞会を行っています。また、景観形成活動では、毎年 9 月頃に開催される【のむきコスモスまつり(勝山市野向町薬師神谷)】へ協力を行っており、農地一面にコスモスが咲く景色を見に地域内外から多くの方が訪れます。
- ◎さらに、長寿命化活動においては、地域全体で活動計画を策定することができるため、効率的で重点的な施設の補修・更新ができるようになりました。
- ◎今後の取組としては、農業者の後継者不足や高齢化等といった問題から農地を維持できない集落を広域組織で助け合いながら、農地を維持していきたいと思っています。そして、市内全集落による広域組織を目指して加入の呼びかけを行っていきます。

【勝山市農地水広域協定 代表 牧野 元恵】



水路の泥上げ



子供会との生き物調査



農地一面に咲くコスモス

■2.「多面的機能支払交付金」にはこんな効果があります！第4弾 ■

前号では、多面的機能支払交付金の効果の第3弾として、「水路」などの農業用施設の景観形成や生態系の保全機能についてご紹介しました。

第4弾としてご紹介するのは、地域で暮らす住民同士の繋がりである「地域コミュニティ」についてです。地域内には自治会や子供会、老人会など様々な団体が存在し、この多様な団体により地域コミュニティが形成されていますが、近年では、過疎化や高齢化、個人の価値観の多様化などにより地域を支える人材が不足し、住民同士の繋がりが希薄化することによる地域コミュニティの機能が低下し、従来行っていた共同活動の低迷が問題となっています。この地域コミュニティを維持・強化するために多面的機能支払交付金制度がどのように関わっているのかお伝えします。

本交付金の活動には農業者だけでなく非農業者の方も多く参加しており、活動組織に参画する非農業者の比率は年々増加し、平成29年度には3割を超えました。本交付金を活用して地域ぐるみの活動が行われており、中でも生き物調査や農業体験などには大人だけでなく多くの子ども達も参加しています。例えば、三重県多気町の多気町^{せいわ}勢和地域資源保全・活用協議会では、交付金を活用して遊休農地を整備し、そこで子ども達が農業・農村の体験学習をすることで、子ども達の農業や郷土への関心を深めています。

また、本交付金に取り組む集落では、取り組んでいない集落と比べ約1.6倍も寄り合いの回数が多く、地域での話し合いの活発化に繋がっています。これまで話をしたことがなかった農業者、非農業者が本交付金の取組をきっかけに話し合いをするようになり、6次産業化につながったという事例もあります。

さて、今回は多面的機能支払交付金が「地域コミュニティ」の継続・強化に効果があることについてご紹介しましたが、いかがでしたでしょうか。次回、第5弾では農村の「担い手」に注目したいと思います。

▽「多面的機能支払交付金の施策の評価」についてもっと知りたい方はこちらから（農林水産省 HP）

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_sesaku.html



子供たちの稲刈り体験学習

■3. 平成 30 年度「食料・農業・農村白書」の公表について ■

農林水産省では、1年間の食料・農業・農村の動向をまとめた食料・農業・農村白書を毎年公表しています。

本年5月28日に公表した平成30年度の白書では、冒頭の特集では、3つのテーマを取り上げ、平成30年度に多発した自然災害からの復旧・復興、現場への実装が進むスマート農業、広がりを見せる農福連携について紹介しています。

このほか、農産物・食品の輸出額の6年連続での過去最高の更新、規格・認証・知的財産を活用した国際競争力強化の取組、消費が広がるジビエ等を取り上げるとともに、全国各地で展開されている先進事例を交え、様々な動きを分かりやすく紹介しています。

詳しい内容は、農林水産省ウェブページに概要と全文を掲載しておりますので、是非ご確認ください。

また今後は、各農政局等で説明会も開催する予定です。皆様のご参加お待ちしております。

農林水産省ホームページ（平成30年度食料・農業・農村白書）

http://www.maff.go.jp/j/wpaper/w_maff/h30/index.html

（お問い合わせ先）

農林水産省大臣官房広報評価課情報分析室

代表：03-3502-8111（内線3260）

ダイヤルイン：03-3501-3883

FAX 番号：03-6744-1526

【農林水産省 大臣官房 広報評価課 情報分析室】

■ 編集後記 ■

あつという間に春が過ぎ、梅雨の時期となりました。雨が降った後の作業では足元のぬかるみに十分注意してください。

さて、私は先日、研修のため、京都府内で最も小さな町として知られる^{かきぎ}笠置町に行ってきました。笠置町は高齢化率が50%を超える「限界自治体」と呼ばれており、農業の担い手不足が深刻な問題となっています。

しかし、町では、年間を通じていろいろなイベントが開催されており、特に夏には、カヌーやキャンプ、ボルダリングなど様々なレジャーを楽しむことができるという魅力があります。実際に1週間滞在し、人の温かさや豊かな自然に囲まれた都会にはない穏やかな雰囲気を感じることができました。

今後、農泊や観光業を通して笠置町の魅力をより多くの人に知ってもらうことで、農業や自然環境を次世代へと受け継いでいってほしいと思いました。また、同様の問題を抱える他の市町村の現状を知ること、適切な手助けをすることが必要であると感じました。



ボルダリングやカヌーができる木津川



町内を通る線路

◇バックナンバー◇

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html

バックナンバーはこちらからもご覧いただけます！→



◇平成30年度多面的機能支払交付金のあらまし◇

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai.html

◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。どうぞ活用ください！！

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/logo/logo1.pdf



高めよう 地域協働の力！

◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから！

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしております！！

tamen_ml@maff.go.jp

【発行】

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局整備部農地資源課

多面的機能支払推進室（担当：藤田、岡田）

TEL：03-3502-8111（内線5493）
